

2014年10月政治・経済・社会情勢関連報道

1. 政治関連報道

報道日	報道内容
1日	9月30日, 1991年9月30日のクーデターから23年目を迎え, ファンミ・ラヴァラス派の大規模なデモが, アリスティド元大統領邸界隈にて実施された。
5日	3日, マルテリー大統領と野党系上院議員6人組との会合が行われた。
8日	7日, ラモット首相は, 世銀加盟国財相の年次総会に参加するため, ジャン＝マリー経済財政大臣らとワシントンを訪問。
9日	8日, ブリュテュス外相はメキシコのクリベナ外相, ハイチ・メキシコ政府間混合委員会第2回協議を共同主宰。2国間協力関係の強化について。
10日	9日, ワシントンにて, ラモット首相はケリー米 국무長官と会談。選挙等について。 8日, マルテリー大統領はラロ通商産業大臣と共にトリニダード・トバゴを訪問。経済競争力に係る第8回米州フォーラムに参加した。テーマは「The human imagination at work:Driving competitiveness, Power innovation」。
20日	20日, マルテリー大統領は, 大統領夫人, ラモット首相, ギョーム保健大臣らとキューバに向け出発。エボラ出血熱への対応に係るALBA-TCPの特別サミットに参加するため。
23日	23日, ペチヨン・ヴィルにて, ラモット首相とナヴァロドミニカ共和国外相は, 第4回2国間ハイレベル会合を実施。ハイチ及びドミニカ共和国の民間セクターの意見交換等が行われた。
27日	27日, マルテリー大統領は, ドイツ, フランス歴訪のためハイチを出発する。 28日, ベネズエラのラミーレス政治主権担当副大統領がハイチを訪問する予定。2国間関係強化のため。
28日	27日, マルテリー大統領は, ヨーロッパ歴訪に先立ち, グアドループにてヴィクトラン・リュレル知事と会談。
30日	30日, シャノン米 국무省顧問がハイチを訪問。ラモット首相らと会合の予定。選挙等について。

2. 経済関連報道

報道日	報道内容
-----	------

3日	2日, カパイシアン, マイアミ間のアメリカン航空定期便が就航。
9日	ジャン＝マリー経済・財政大臣とラロ通商・産業大臣は, 10日よりガソリン関連商品の値上げを実施する旨共同で声明を発表した。ガソリンは15%の値上げ。
31日	2014年9月インフレ率, 前年同月比5.3%。

3. 社会関連報道

報道日	報道内容
4日	4日, ジャン＝クロード・デュヴァリエ元大統領死去。
6日	米国の探検家バリー・クロフォードがコロンブスのサンタマリア号のものとしていた海底の残骸について, ユネスコが調査を実施, 同探検家の仮説は否定された。
15日	10日, 国連安全保障理事会は満場一致で決議2180を採択, MINUSTAHのマンデートの1年延長を決定した。
19日	米司法委員会の委員が, 米国におけるハイチ系移民のファミリー・リユニフィケーション促進に係る条件付プログラムについての声明を発表した。
23日	20日より車両の新ナンバープレートの配布が開始。

*当国各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。